おとがわ

有 勇 優 友

ふぉ〜ゆ〜

校長室だより
第 44 号
R4.1.14
文責　中西　勉

【４年】伝統工芸体験

４年生は今、社会科「わたしたちの愛知県」の単元で、愛知の伝統工芸について学習を進めています。本日は、数ある愛知の伝統工芸の中でも「三河仏壇」の製造に携わってみえる１０名の伝統工芸士の方をお招きして、伝統工芸体験を行いました。子供たちは、三河仏壇の製造工程のうち、「彫金」「金箔」「蒔絵」の三つの工程の中から一つを選び、一人一人がその体験を通して自分の作品を作りました。作品づくりに取り組む子供の眼差しは真剣そのもので、伝統工芸士の方々のアドバイスを受けながら、完成まで丁寧に作業を進めました。この体験を通して、子供たちは、伝統工芸品を作る匠の技量の高さや、技を後世に伝えていくことの大切さを実感できたようでした。

▲上：彫金、左下：金箔、右下：蒔絵

☆☆☆

「音」を「楽」しむ姿が見られた音楽の授業

昨日、三つの学級で音楽の研究授業を行いました。「星空」や「魔法」から想起されるイメージをタンバリン、鈴、トライアングルなどの打楽器で表現したり、指の大きな移動を伴う鍵盤ハーモニカの演奏に挑戦したりしました。三つの学級に共通していたのは、「音」を「楽」しむ子供の姿がよく見られたことでした。音楽の授業を通して、子供たちは音で表現する力を伸ばすことができました。

▲【１－１】「星空」の表現

▲【２－２】鍵盤ハーモニカの演奏

▲【３－３】「魔法」の表現

第 58 回　造形　おかざきっ子展

本日よりＷｅｂ開催が始まりました。３月２５日（金）まで、閲覧可能です。
下のＵＲＬまたは右のＱＲコードからアクセスしていただき、ご都合のよいときにご覧ください。（　https://okazakids.com/　）